

記録測定会注意事項

1. 規則

本大会は2018年度日本陸上競技連盟規則並びに、本記録測定会の申し合わせ事項に準じて実施する。

2. 練習

- ①本競技場での練習は8:00~8:40までとし、それ以降は補助競技場を使用すること。
- ②跳躍競技、投擲競技の練習は競技開始40分前から、競技場内で競技役員の指示により行うこととする。
- ③練習は競技役員、アナウンスの指示に従い危険防止に注意すること。

3. 競技場

- ①競技場の開門時間は、7時30分とする。
- ②本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さ約13mm、フィールドは約18mmである。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則第143条を参照のこと。

4. 召集

- ①召集場所、100mスタート地点のスタンド下に設ける。
- ②召集に遅れた者は、棄権とみなし出場できない。
- ③召集完了時刻は下記の通りである。
 - トラック種目（リレーは除く）・・・競技開始20分前、リレー種目は7. 参照のこと。
 - フィールド種目・・・・・・・・・・競技開始40分前、ただし棒高跳は競技開始1時間前とする。
- ④召集要項
 - (a) 競技者は出場種目の召集時刻までに、召集所にてナンバーカードを付けたユニホームを着用し、競技者係りのチェックを受ける。
 - (b) 競技者は競技開始10分前に、各競技所にて最終点呼を受ける。
 - (c) 代理人による最終点呼は認めない。ただし2種目兼ねて同時に出場する競技者は、その事を本人又は代理人が競技者係に申し出て了解を得ること。

5. ナンバーカード

- ①ナンバーカードは、冬季陸上競技講習会ナンバーカードを着用のこと。
- ②小学生のナンバーカードは1000番台からとするので、加筆してください。例：1→1001
- ③ナンバーカードは、2枚をユニホームの前後に結着すること。走高跳、棒高跳は1枚を胸又は背のどちらかに結着すること。
- ④トラック種目は、召集場所で腰に付けるコースナンバーカードを渡されるので右腰に結着すること。ゴール後は安全ピンとともに係りに返却する。
 - ※男子3000mについては、召集場所で特別ナンバーカードを渡されるので、胸と背に結着する。ゴール後、係りに返却すること。

6. トラック競技の走路順, フィールド競技の試技順

- ①トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに示す。
- ②800mはオープンスタートとする。

7. リレー競技

- ①リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、競技開始2時間から1時間前に召集所に提出すること。（リレーオーダー用紙は召集所で配布）
- ②4×100mRでは1人1カ所に限り、マーカーを使用することができる。

8. 計 時

- ①全てのトラック種目を電気計時（0.01）で計測する。
- ②各種目の競技結果は、通告の他に100mスタート後方の掲示板に掲示する。

9. フィールド競技

- ①フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によります。
- ②走幅跳、走高跳はメインスタンド側をAピットとする。

10. 用 具

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
但し、棒高跳用ポール、砲丸について、個人所有のものを使用できる。

11. 抗 議

競技規則第146条によって行なうこと。

12. その他

- ①プログラムの訂正がある場合には、本部庶務係りまで速やかに連絡すること。
- ②ナンバーカードを紛失及び忘れた競技者は、本部にて本記録会指定の無地のナンバーカードを購入し、前記「5. ナンバーカード①」のナンバーを記入し使用すること。ナンバーカードの代金は1枚50円とする。
- ③競技会で発生した障害については、主催者側で応急措置をし、スポーツ安全保険を適用する。
が、以後の治療は各自の責任で受けること。
- ④本競技場メインスタンドでのテントの張り出しは禁止する。
- ⑤メインスタンド最前列への部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ⑥競技運営に支障をきたす応援はつつしむこと。（特にフィールド競技中のグループ応援等）
- ⑦競技場内での付き添い及び応援は一切禁止する。
- ⑧更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷くことを禁止する。
- ⑨競技運営上、著しく遅れた競技者に対して競技を中止させる場合がある。
- ⑩競技終了後、自席の清掃をすること。ゴミは持ち帰りを原則とする。
- ⑪貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。
- ⑫本記録測定会では風力の測定はおこなわない。

13. 安全対策

- ①競技会に参加の競技役員、競技者、補助員以外はトラック・フィールドに立ち入らないこと。
- ②練習では決められた時間、レーンを守り常に安全を怠らないこと。
※本競技場（8：00～8：40） 1～3レーンは周回、4～6レーンは流し等、7,8レーンはハードル
※補助競技場（8：40～） 1～2レーンは周回、3～4レーンは流し等、5～8レーン直線ダッシュ
- ③周囲の安全を確認し、競技役員・顧問等の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ④トラック・フィールドともに横断する際には、周囲の安全確認をおこなう。
- ⑤練習の際、事故防止のために必要な声の掛け合いをおこなう。
- ⑥投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外おこなわない。
- ⑦投てき物の回収の際も、周囲の安全に十分に配慮すること。
- ⑧チューブ等を使用しての練習は、安全面からおこなわない。